

八代地域の未来への想い

地域未来創造会議（八代地域）

令和7年2月5日

熊本県知事

木村 敬

1 八代地域の地域資源・伸びしろ

九州南部の交通結節点・要衝

(1) 道路及び鉄道網が充実

- ・九州のほぼ中央に位置し、道路や鉄道網が充実
- [道 路] 九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道、国道3号
- [鉄 道] 九州新幹線、JR鹿児島本線（肥薩線）、肥薩おれんじ鉄道



(2) 海の玄関口を有す

- ・県内最大の貨物量を誇る国際貿易港である八代港
- ・県内唯一の国際クルーズ拠点くまモンポート八代

全国有数の農業地帯

(1) 豊富な農産物

- ・トマト、豊表は全国1位、梨、いちご、露地野菜は県内上位の産出額

(2) 地理的表示（GI）登録産品

- ・全国で登録されている産品数で熊本県が1位、うち、5産品※が八代地域で生産

※くまもと県産い草、くまもと県産い草豊表、八代特産晩白柚、八代生姜、くまもと塩トマト

（R6.8月登録数：全国148、熊本県9）



八代市
い草・トマトの生産量が
市町村単位で全国1位



氷川町
熊本県の梨の発祥地。吉野梨
のブランドは全国的に有名

県南地域をけん引する産業集積

(1) 八代臨海工業地域

- ・国の重要港湾である八代港を中心に、球磨川の水を利用した製紙等、古くから製造業が集積
- [主な事業所] 日本製紙八代工場、メルシャン八代工場、YKKAP九州製造所、興人八代工場、ヤマハ熊本プロダクツなど

(2) ITベンチャー企業の進出

- ・八代市において、IT関連の求職者や若い世代の地元定着に繋がる雇用を目的に、IT企業との関係構築が図られている（H31年 株式会社MARUKUとの立地協定締結等）

1 八代地域の地域資源・伸びしろ

豊かな文化遺産・魅力的な観光素材

- (1) ユネスコ無形文化遺産「八代妙見祭の神幸行事」等、文化財の宝庫
 - ・ 八代妙見祭の神幸行事のほか、「石工の郷」のストーリーが日本遺産に認定されるなど、有形・無形の文化遺産が多く存在
- (2) 豊かな自然、歴史ある温泉等の観光素材
 - ・ 九州中央山地国定公園や五木五家荘県立自然公園特別地域に指定されている「五家荘」及び「立神峡里地公園」
 - ・ 600年の歴史があり、昭和の風情漂う温泉地「日奈久温泉」



八代妙見祭の神幸行事

充実した生活環境

- (1) 医療提供体制の充実
 - ・ かかりつけ医から高度急性期医療までを完結できる医療提供体制
- (2) 教育の充実(八代市内の高等学校等は熊本市内に次ぐ学校数)
 - ・ 全日制(県立・私立)、定時制、特別支援学校及び高専が計12校存在



新たな開発プロジェクト

- (1) 県営工業団地
 - ・ TSMC進出効果を県南に波及させるため、八代市の協力のもと企業立地の受け皿となる工業団地の整備に着手
- (2) 新八代駅周辺開発
 - ・ 八代市において、県南地域の拠点に相応しいまちづくりを進めていくため、令和6年3月に「新八代駅周辺グランドデザイン」を策定し、物流・人流拠点機能の強化について検討が進められている



2 八代地域の未来についての想い

■ 県南地域の拠点としての機能向上

- ▶ 八代港、九州縦貫自動車道「八代IC」、九州新幹線「新八代駅」という交通結節点の優位性や新たなインフラ整備等を活かし、物流・交流の拠点化を推進。
- ▶ 県営工業団地の整備などによる、さらなる企業集積を図るための企業誘致の推進
- ▶ 「新八代駅周辺グランドデザイン」に基づく開発や、氷川町で進められる「ベッドタウンとしての環境整備」の推進

■ 食のみやこ熊本県の創造

- ▶ 食文化を活かした新商品開発等によって、高付加価値化を図り、食関連産業の更なる集積の加速化（「県南フードバレー構想ステージ2」）
- ▶ いぐさ・畳表の一層の高品質化・ブランド化に向けた取組みの推進
- ▶ 親元就農の促進等による農林畜水産業の担い手確保・育成

■ 県南地域が一体となった周遊型観光地としての磨き上げ

- ▶ 「食のみやこ熊本県」の食文化を活かした観光誘客
- ▶ クルーズ船効果の県南地域への波及に向けた経済団体等と連携した取組みの推進
- ▶ スポーツ・ツーリズムの推進（大規模集客施設を活用した誘客、サイクルツーリズム等）
- ▶ 日奈久温泉などの魅力発信
- ▶ 歴史文化ツーリズム（五家荘、松浜軒、日本遺産など）

■ 令和2年7月豪雨からの創造的復興

- ▶ 「令和2年7月豪雨からの新時代共創復興プラン」に基づく取組みの推進

ご清聴
ありがとうございました



©2010 熊本県くまモン